

個人調査報告書（浜名湖ボートレース施設）

日 時：令和7年10月19日(日)～20日(月)

場 所：浜名湖ボートレース場

○10月19日（日） 「浜名湖ボートレース場」視察

（テーマ）他のレース場（浜名湖）の現状調査について

応対者：浜名湖ボートレース企業団 企業長 [REDACTED]

企業次長 [REDACTED] 総務課副主幹 [REDACTED]

今回の調査は、ボートレース下関が昭和29年に開設して以来、2024年の全体売上が全24場中4位となっているが、施設の老朽化問題や売上向上のためにどのような取組を今後されるのか、他のレース場の現状を調査することで、本市の今後の対応について私の参考とするものである。

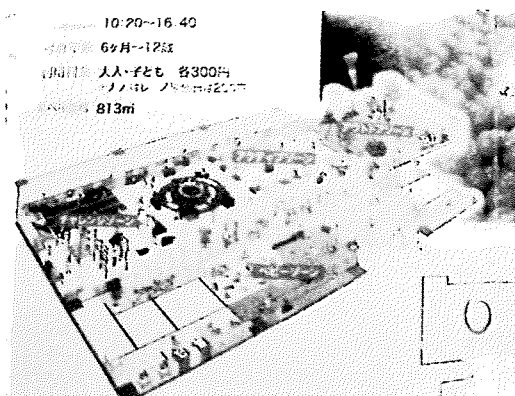
調査内容は6点あり、

- 1) 売上向上策（ファンサービスやイベント等）の推進について
- 2) 年度別繰出金額と使途状況について
- 3) 施設改修に向けての改善点（有料席等）について
- 4) 場外向け発売所ウインピアについて
- 5) B T S 浜松での顔認証システム導入（費用対効果）について
- 6) 場内の食事処の取組について

以上について調査をした。

売上向上対策として、本市も地域に開かれた新しい遊び場「モーヴィ下関」があるが、「モーヴィ浜名湖」は発達段階に応じて分けられたそれぞれのゾーンがあり、たくさんの遊びの仕掛けがありました。日曜日ということもあり多くの子供さんで賑わっていました。

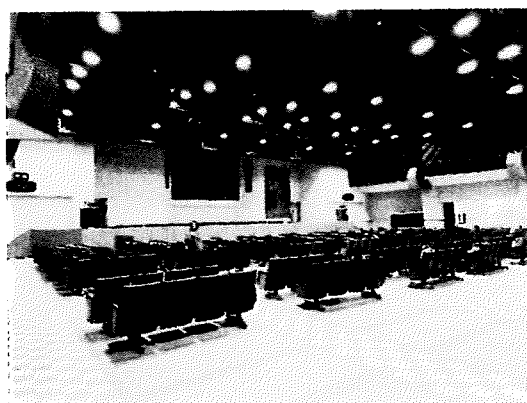
「モーヴィ浜名湖」



浜松本場で特に参考となったのが「サンホール」で、レース開催中に様々な公演やイベント（ファッションショーなども実施）が行われるホールがあり、本市でも歴史絵巻である上臈道中の花魁姿などのイベントを行う会館などの設置を議会で求めるなどの意見がありますが、正にここボートレース場に豪華な会場を建設し、本市の観光にも一役してもらえる館を創ることで。

「サンホール」

移動できる椅子のため
会場の活用が自由にできる



○10月20日(月) 「ボートレースチケットショップオラレ浜松」視察

(テーマ) 顔認証カメラ設置について

応対者：開催運営課保安副本部長 XXXXXXXXXX

浜松駅より歩いて10分程度の場所にあるオラレ（ビル地下1階）は4年前に開設され、今回の調査である顔認証カメラは3年前に設置されたとのこと。

このカメラは、オラレの出入口が一箇所のため1基の取付となっており、設置費用は約300万円で、登録認証できる人数は2万人とのこと。現在の登録対象者は、出入り禁止者やギャンブル依存症者・クレーマーなど約300人であり、警察の要請があれば犯罪者の登録も可能とのことでした。その要請により窃盗犯の逮捕にも貢献できたそうです。(感謝状あり)



オラレの出入口

(顔認証カメラ)



(顔認証カメラ)



(管理室状況)



(窃盗犯逮捕の感謝状)

